

成果指標				
成果指標	参加人数			
指標設定の考え方	健康まつりに参加することにより、健康に対する意識を高めてもらうことを目的としているため、参加人数を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標29年度
目標	3000	200	200	200
実績	2000	160	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	従来の開催方法を見直したため、参加者は減少したものの、健康の大切さを再認識する機会として事業を実施することができた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	H26年度までは「健康&福祉まつり」として、イベント方式であったが、今年度は健康をテーマに講演会と健康相談事業にターゲットを絞り開催した。集客数は減少したが、健康への関心の高い人の参加が多かった。今後一層の関係課との連携の下、健康増進やジェネリック医薬品への切替の推進など、医療費の削減への周知活動や意識付けが必要となる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。
意見、課題	事業を見直し、本来の健康増進事業としての成果が見られた。医療費適正化への効果が発揮できるよう、講演内容を工夫し今後一層の事業充実を図りたい。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	さらに重点化する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ、さらに重点化すること。